

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第205号

令和5年9月20日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

中高生サイエンスキャリアプログラム 特集号

今年の夏は記録的な「猛暑」でしたが、この「猛暑」に負けず、数多くの講座・イベントを実施することができました。今号では、中高生対象の「中高生サイエンスキャリアプログラム」を紹介いたします。

「中高生サイエンスキャリアプログラム」とは

県内の中高生が、当「協議会」会員である大学・科学館・企業等の施設を訪問し、施設見学、職員・研究者による特別講義、科学体験に取り組むことにより、将来の進学や就職を考えるきっかけとする事業です。今年の夏は会員の皆様のご協力により14の施設で実施することができ、のべ158名の中高生が参加しました。



7月22日(土)

日本技術士会神奈川県支部



参加者が実際に工作を通じて、風力発電の仕組みについて学びました。

7月23日(日)

北里大学



薬用植物園を見学したり、昔ながらの薬づくりを体験したりすることができました。

7月25日(火)

東芝未来科学館



科学館の見学の後、工作を通じて、半導体の仕組みについて学びました。

7月28日(金)

株式会社ミツヨ ミツヨ測定博物館



マイクロメータの歴史を学び、実際に測定体験をすることができました。

7月29日(土)

青山学院大学 社会情報学部



Scratch を使ってプログラミングを学び、作った作品をお互いに発表しました。

8月1日(火)

神奈川県温泉地学研究所



施設の見学の後、震源を求めるワークを通して地震観測について深く学びました。

8月3日(木)

サーモフィッシャーサイエンティフィック ジャパングループ



実習を通して研究員の仕事に触れ、理系人材の育成に繋がる体験となりました。

8月4日(金)

横須賀市自然・人文博物館



実際に植物を採取し、参加者がそれぞれ植物標本を作る体験をしました。

8月6日(日)

湘南工科大学



模型飛行機を実際に作り、流体力学について学びました。

8月8日(火)

東海大学



白衣を着て、バナナの匂いなどのエステルの合成実験を経験することができました。

8月17日(木)

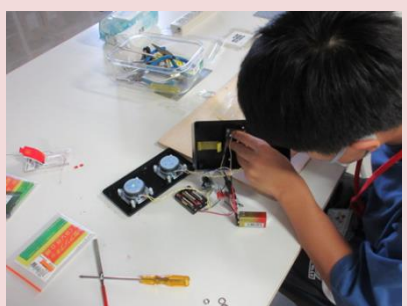
神奈川県立産業技術短期大学校



折板構造について学び、紙を折ってランプシェードの制作をしました。

8月19日(土)

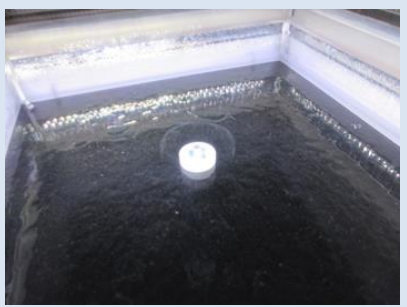
神奈川工科大学



Bluetooth 接続をして音が鳴るスピーカーの製作体験をすることができました。

8月22日(火)

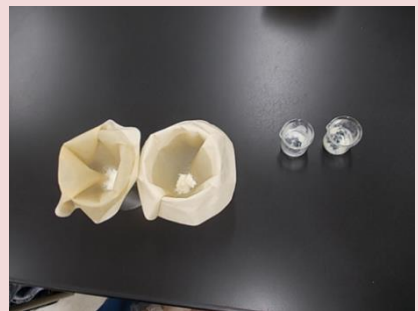
東京都市大学



ガンマ線の測定や霧箱の観察を通して放射線について学びました。

8月25日(金)

鎌倉女子大学 教育学科



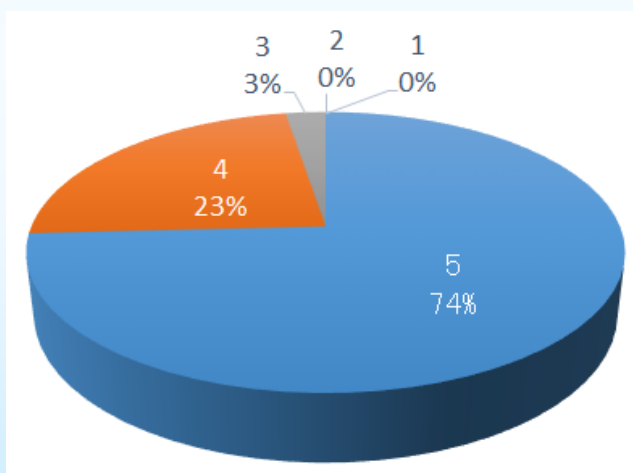
カッターチーズ作りを通して、マイクロスケール化学実験について学びました。

参加者の満足度調査結果

来場者のアンケートによる満足度調査の結果は下のグラフの通りです。
155 名がアンケートに回答し、5点満点の満足度で5と4を合わせると 97%、全体の平均でも 4.7 という結果でした。

アンケート結果から、会員の皆さまの施設でのプログラム内容が素晴らしく、ほとんどの参加者が満足してくれた事が分かる内容でした。

準備から当日の受け入れまで、ご協力いただきありがとうございました。次年度以降も青少年の科学体験活動の機会提供にご協力をお願いします。



事務局から

7月から8月にかけて、新型コロナウイルス感染による参加者の欠席連絡が増えてきました。そのような中でも、様々なイベントで子どもたちは本当に楽しそうに科学体験に参加している姿を見せてくれました。コロナ禍で様々な活動や体験が制限されて来た子どもたちにとって、実際に物に触れ、体験することは本当に大切な経験であると感じています。

次回の第 206 号では「子ども科学探検隊」での子どもたちの生き生きとした様子を皆さまに報告したいと思っています。



(事務局:奥村、山田、上田、山口)



かながわりレー科学教室藤沢の様子(8月6日)